

## 令和4年度 福祉教育学習会 開催要項

### 1 目的

少子高齢化や人口減少、さらには生活困窮や社会的孤立、虐待問題の増加など、地域社会を取り巻く環境が大きく変化する中、国では「地域共生社会」を掲げ、子ども、高齢者、障害者等全ての人々が、地域や生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を目指しています。

そのような中、地域で暮らす様々な人が、地域福祉について関心を持ち、主体的に活動できる地域づくりを推進する「福祉教育」は益々重要です。

本学習会では、「地域」と「学校」と「社協」が協働することで広がる「地域ぐるみの福祉教育」について考察すると共に、今後どのように継続的な協働体制を構築していくのかについて、理解を深めることを目的に開催します。

### 2 主催 社会福祉法人宮城県社会福祉協議会

後援 宮城県教育委員会

### 3 開催回数 全3回

- 4 開催日時
- |                     |   |
|---------------------|---|
| (第1回) 令和4年7月 8日 (金) | } 午前10時30分から午後3時30分まで<br>(受付開始午前10時15分から) |
| (第2回) 令和4年8月23日 (火) |   |
| (第3回) 令和4年9月27日 (火) |   |

### 5 開催形態・定員・会場

(第1回) 会場参加：30名 ※オンライン参加はありません。

会場：宮城県管工事会館 9階 大会議室

(第2回) 会場参加：30名 オンライン参加：50名

会場：フォレスト仙台 第1・2会議室

(第3回) 会場参加：30名 オンライン参加：50名

会場：フォレスト仙台 第1・2会議室

### 6 研修内容

第1回：「子どもたちの心を動かす伝え方～子どもたちに“ふくし”について伝えよう～」

日時：令和4年7月8日 (金) 午前10時30分から午後3時30分まで

対象者：市町村社会福祉協議会職員、学校等で総合学習・道徳教育・特別支援等に携わる教職員・児童館、その他関係機関等において、福祉教育・学習等に携わる方、または興味のある方

10:30	開会・オリエンテーション
10:40	<講義> 子どもの生きる力を育み、豊かな人間関係を築くことに繋がる福祉教育には大き

	な価値があります。福祉教育を学校や地域で展開する職員等が、子どもたちに対して学びを伝える際に必要とされる、発達段階に応じた言葉遣いや表現、プログラム組立のポイントについて学びます。 講師 仙台市教育センター 授業アドバイザー 小石 俊聡 氏
12:00	昼食
13:00	<演習> 代表者に「先生役」を行っていただき、参加者は「生徒役」として福祉教育プログラムを体験し、授業の展開が更によくなる点等について意見交換を行います。
15:30	閉会

第2回：「地域を基盤とした福祉教育についてみんなで学ぶ～福祉教育ってなに？～」

※地域福祉活動を実践している地域住民の方と一緒に受講していただきたい内容となっています。

日時：令和4年8月23日（火）午前10時30分から午後3時30分まで

対象者：市町村社会福祉協議会職員、学校等で総合学習・道徳教育・特別支援等に携わる教職員児童館、公民館、大学、社会福祉法人、NPO等団体、地域包括支援センター、その他関係機関等において、福祉教育・学習等に携わる方、または興味のある方

10:30	開会・オリエンテーション
10:40	<講義> 自分たちの地域における福祉を充実させる為に、住民自らが参画し、創り出すという自治の力が大切です。福祉教育が地域づくりに有効であることや、福祉教育を多様な人々と連携して取組む意義について学びます。 講師 福島学院大学 教授 日下 輝美 氏
12:00	昼食
13:00	<講義・意見交換> 地域住民と社協が協働し、地域住民が主体的となり取り組んでいる福祉教育実践について事例から学びます。 地域の人々と多様な機関が協働して、どんな活動を展開していくことができるか意見交換を行います。
15:30	閉会

第3回：「地域×学校×社協が連携した福祉教育実践について学ぶ～地域一体となり子どもたちを育む～」

日時：令和4年9月27日（火）午前10時30分から午後3時30分まで

対象者：市町村社会福祉協議会職員、学校等で総合学習・道徳教育・特別支援等に携わる教職員、その他関係機関等において、福祉教育・学習等に携わる方、または興味のある方

10:30	開会・オリエンテーション
10:40	<講義> 地域住民と学校と一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える仕組みとして「コミュニティスクール（学校運営協議会制度）」があります。コミュニティス

	クールや宮城県教育委員会が作成している「みやぎの志教育」について学び、地域と学校と社協が連携した福祉教育実践について理解を深めます。 講師 宮城教育大学 学長付教育支援コーディネーター 野澤 令照 氏
12:00	休憩
13:00	<講義・演習> コミュニティスクールの取組事例について学ぶとともに、学校と社会福祉協議会それぞれの実情について理解を深めます。 また、講義内容を参考に、地域みんなで子どもたちを育むために今後実践したい取組等について意見交換を行います。
15:30	閉会

## 7 申込方法

(1) 必要事項を御記入のうえ、下記 Google フォームよりお申込ください。

第1回目 <https://forms.gle/ch3azXqSmEjuMXQM6>



第2回目 <https://forms.gle/W9DT6shYX4FKRyVF6>



第3回目 <https://forms.gle/3z17Jn4fgjEphTXE8>



(2) 各回いずれかのみでの参加も可能です。

(3) 各プログラムの定員人数になり次第締切させていただきます。期日超過後も空きがある場合は調整が可能ですので、お問い合わせください。

(4) 申込締切

第1回 令和4年6月28日(火)

第2回 令和4年8月10日(水)

第3回 令和4年9月13日(火)

## 8 新型コロナウイルス感染拡大防止に関するお願い

(1) 風邪症状や息苦しさ(呼吸困難)・強いだるさ(倦怠感)・発熱(37.5度以上あるいは平熱より1度以上高い)等の強い症状のいずれかがある場合がある方は参加をお控え下さい。判断に迷う場合には、会場へ直接お越しいただくのではなく、本会みやぎボランティア総合センター(電話022-266-3951)までその旨を御一報くださいますようお願いいたします。

(2) 研修当日は、受付前に検温させていただき体温を記録させていただきますので、御理解いただけますようお願いいたします。検温の結果、37.5度以上あるいは平熱より1度以上高い場合には、会場に入る前に御帰宅いただくこととなりますので併せて御協力お願い申し上げます。

(3) こまめに会場の換気を行いますので、衣服で温度調整ができるよう、御準備願います。

(4) 感染等の様々な状況を鑑み、急遽、会議の持ち方等について変更・中止する場合がありますことを御了承下さい。

## 9 オンライン参加に関して

- (1) 研修資料を、参加申込書に記載いただいたメールアドレス宛に、事前にデータを送付しますので、研修当日は資料を御覧になりながら受講願います。資料のデータ送付と併せて、メールの送受信確認を行いますので、研修前日になってもメールが届かないようでしたら、お手数おかけいたしますが宮城県社会福祉協議会みやぎボランティア総合センター宛で、御連絡ください。
- (2) セミナー当日は、午前10時10分以降、ログインが可能となります。午前10時25分までに、ログインを完了し、会議開始までログイン状態のまま、待機してください。  
⇒申込みをもって、以上の注意事項について同意したとみなさせていただきます。

## 10 その他

- (1) 受講決定の連絡はしませんので、確認が必要な場合は下記までお問い合わせください。
- (2) 昼食休憩を1時間程度取ります。昼食は各自で御準備願います。
- (3) 広報誌やホームページでの使用を目的に、研修中の写真撮影をさせていただく場合があります。
- (4) 参加費は無料です。

## 11 お問い合わせ先

宮城県社会福祉協議会 みやぎボランティア総合センター（担当：武藤・斎藤・生亀）

〒980-0014 仙台市青葉区本町3-7-4 宮城県社会福祉会館3階

TEL 022-266-3951 FAX 022-266-3953 Email [myvc@miyagi-sfk.net](mailto:myvc@miyagi-sfk.net)

## 12 研修会場

(第1回) 令和4年7月8日(金)



(第2・3回) 令和4年8月23日(火)・令和4年9月27日(火)

